



# 令和3年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年8月7日

上場会社名 フジプレアム株式会社  
コード番号 4237 URL <http://www.fujipream.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本倫長

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 IR・広報部長 (氏名) 三浦理路

TEL 079-266-6161

四半期報告書提出予定日 令和2年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和3年3月期第1四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第1四半期	2,593	24.2	131	169.6	129	160.1	88	180.3
2年3月期第1四半期	3,420	50.4	48	44.6	49	51.4	31	47.1

(注) 包括利益 3年3月期第1四半期 95百万円 (176.8%) 2年3月期第1四半期 34百万円 (40.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第1四半期	3.08	
2年3月期第1四半期	1.10	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期第1四半期	14,268	8,597	59.3
2年3月期	14,363	8,673	59.4

(参考) 自己資本 3年3月期第1四半期 8,460百万円 2年3月期 8,536百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期		0.00		6.00	6.00
3年3月期					
3年3月期(予想)		0.00		6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	13,009	6.9	384	11.3	390	7.6	214	44.4	7.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年3月期1Q	29,786,400 株	2年3月期	29,786,400 株
期末自己株式数	3年3月期1Q	1,211,461 株	2年3月期	1,211,461 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年3月期1Q	28,574,939 株	2年3月期1Q	28,574,939 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料] 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により、国内外の経済活動が急速に冷え込む等、景気の先行きは極めて厳しい状況となっております。

このような環境の中、当社グループの主力事業である精密貼合及び高機能複合材部門を取り巻く環境におきましても、厳しい環境となりつつありますが、最先端のエレクトロニクス関係製品向け、自動車業界あるいは医療機器業界向け等の、高付加価値マーケットからの引合いが順調に推移しております。一方、環境住空間及びエンジニアリング部門におきましては、国内再生可能エネルギー市場における制度変更の影響により、従来型の太陽光発電事業は引き続き厳しい市場環境ではありましたが、建材用途向け等の新しい市場向けに注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高2,593百万円（前年同四半期比24.2%減）、営業利益131百万円（同169.6%増）、経常利益129百万円（同160.1%増）を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は88百万円（同180.3%増）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を一部変更しており、以下の前年同四半期比については、前年同四半期の数値を変更後の区分に組み替えた数値で比較しております。また、従来の「環境ビジネス部門」を「環境住空間及びエンジニアリング部門」へ名称変更しております。

## 精密貼合及び高機能複合材部門

国内外におけるディスプレイ・タッチパネル市場は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市場規模は一時的に縮小することが見込まれます。ユーロカップや東京五輪開催延期の影響により、テレビ用途市場は伸び悩み一方で、車載用途市場あるいは医療機器用途市場は各種機器・装置のディスプレイ化が更に進むことから、堅調に拡大することが見込まれます。また、大型モニター市場、デジタルサイネージを中心としたパブリックディスプレイ市場も拡大しており、市場全体としては令和3年以降、引き続き成長が見込まれます。このような市場の変化の中、精密貼合技術により一層磨きを掛け、新規生産設備の導入による生産の高度化を実施することにより、難易度の高い技術を求められる用途製品の開発に取り組んでおります。自動車を含めたモビリティについては、多様なパーツのディスプレイ化あるいはタッチパネル化が見込まれており、そのための開発要素の強い取組みも実施しております。

この結果、売上高1,956百万円（前年同四半期比34.4%減）、営業利益68百万円（同57.8%増）となりました。

## 環境住空間及びエンジニアリング部門

太陽電池の国内市場は、国内制度の変更あるいは海外メーカーの台頭により、国内メーカーにとっては厳しい状況が続いております。そのため当社グループも、OEM供給品へのシフト、更にはOEM供給品についても製品開発・用途開拓等の開発要素が大きいものに注力、メンテナンス市場開拓も推進してまいりました。また、今期からは太陽電池だけにとどまらず、環境に配慮した住空間・生活空間あるいは製造環境の構築に貢献するために、メカトロニクス技術も活用した省人化あるいは省エネルギー化ビジネスにも注力しております。

この結果、売上高637百万円（前年同四半期比45.7%増）、営業利益62百万円（前年同四半期は3百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が14,268百万円となり、前期末比95百万円の減少となりました。主なプラス要因は、受取手形及び売掛金の増加152百万円、仕掛品の増加90百万円等であり、主なマイナス要因は、現金及び預金の減少635百万円等であります。

負債は5,671百万円となり、前期末比19百万円の減少となりました。主なプラス要因は、支払手形及び買掛金の増加232百万円等であり、主なマイナス要因は、長期借入金の減少115百万円、未払法人税等の減少108百万円等であります。

また、株主資本は利益剰余金の減少83百万円により8,464百万円となり、純資産は8,597百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和2年5月15日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,546,381	2,910,543
受取手形及び売掛金	1,850,303	2,002,904
商品及び製品	154,395	154,869
仕掛品	585,059	675,711
原材料及び貯蔵品	363,889	404,447
その他	16,052	36,901
流動資産合計	6,516,080	6,185,377
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,590,201	3,645,933
土地	2,521,563	2,521,563
建設仮勘定	2,766,863	487,801
その他（純額）	464,338	724,429
有形固定資産合計	7,342,966	7,379,727
無形固定資産		
その他	3,385	3,364
無形固定資産合計	3,385	3,364
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	49,123	49,235
その他	459,309	658,024
貸倒引当金	△6,984	△6,984
投資その他の資産合計	501,448	700,274
固定資産合計	7,847,801	8,083,367
資産合計	14,363,881	14,268,744

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	977,002	1,209,690
短期借入金	1,830,000	1,830,000
1年内返済予定の長期借入金	460,044	460,044
未払法人税等	150,614	42,530
賞与引当金	12,442	2,954
その他	153,009	134,247
流動負債合計	3,583,112	3,679,466
固定負債		
長期借入金	2,071,536	1,956,525
その他	36,091	35,741
固定負債合計	2,107,627	1,992,266
負債合計	5,690,740	5,671,732
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	4,971,132	4,887,690
自己株式	△863,890	△863,890
株主資本合計	8,548,053	8,464,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,203	△4,290
その他の包括利益累計額合計	△11,203	△4,290
非支配株主持分	136,291	136,691
純資産合計	8,673,141	8,597,011
負債純資産合計	14,363,881	14,268,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年6月30日)
売上高	3,420,584	2,593,302
売上原価	3,162,976	2,252,468
売上総利益	257,608	340,834
販売費及び一般管理費	208,876	209,439
営業利益	48,732	131,394
営業外収益		
受取利息	1,898	1,993
受取配当金	4,413	—
その他	3,639	926
営業外収益合計	9,950	2,920
営業外費用		
支払利息	2,218	1,946
為替差損	6,490	2,840
その他	209	89
営業外費用合計	8,918	4,876
経常利益	49,765	129,437
特別利益		
固定資産売却益	641	181
特別利益合計	641	181
税金等調整前四半期純利益	50,407	129,619
法人税、住民税及び事業税	4,358	31,483
法人税等調整額	14,670	9,728
法人税等合計	19,029	41,212
四半期純利益	31,377	88,407
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20	399
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,398	88,007

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年6月30日)
四半期純利益	31,377	88,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,060	6,913
その他の包括利益合計	3,060	6,913
四半期包括利益	34,437	95,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,458	94,920
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	399

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。